

□ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

Pick up News

- 〔注目スケジュール〕
- 8/29 米シカゴ購買部協会景況指数
ユーロ圏消費者物価指数、ユーロ圏失業率
米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉報告
 - 9/ 1 米国休場 (レーバーデー)
 - 2 米ISM製造業景況指数
 - 4 米ISM非製造業景況指数、ADP雇用報告
欧州中央銀行 (ECB) 理事会
 - 5 米雇用統計、CFTC建玉報告

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



貴金属は基本的に先週の週報で示した流れは変わっていない。それどころか今週に入ってから薄商いが続き先週よりも更に小さなレンジで推移している。金の日足チャート上は現在8/19をボトムとしたウエッジフォーメーションをほぼ完成し綺麗な調整パターンを示現している。このまま8/19の安値2800円割れに向けて下降が始まる為には8/22の高値2951円を意識したい。もしこのまま2951円のレジスタンスを確りブレイクアップした場合は売りポジションの撤退サインとなるが、率直に言ってここ一週間の出来高・取組高は低迷、日中の板も薄く熱気が全くといっていいほど感じられない。現在のこのような雰囲気をもちながらの値位置切り上げはまさに”戻り”そして”調整”に相応しい特徴を示しており本格出直りとは捉えるべきでない。むしろ二番底を形成する前兆と捕らえたほうがじっくりくと感じられる。

白金も先週同様レンジの中の”安値波乱”金にも増して薄商いの場味である為金に比してブレが大きい程度、底値圏での逆バリの域は脱しきれないだろう。8/22の高値にフィルター(2日ルール推奨)をかけて撤退ラインとしつつレンジ上限売り方針変わらず(8/29前引け現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

為替相場の鍵を握るのは欧米の経済指標か、それとも原油か、というぐらいに原油相場の動向が金融市場においても注目されている。原油高はドル安要因、原油安はドル高要因と、その関係は逆相関にあって、その傾向もまた継続するものと見なければならぬか。こうした動きが顕著に出ている背景にはヘッジファンドの存在が指摘されている。市場では、同筋は「原油買い・ドル売り」から「原油売り・ドル買い」にポジションを切り替えたとの見方が一般的だ。CMEにおけるドル買いポジションは過去最大規模に積み上がっており、これから一体誰がドルを買うのかと言ってよいほど、相場観が傾いてしまっている。こうした状況だけに、米雇用統計発表まで続く一連の経済指標から目が離せないとともに、ハリケーン発生で警戒感高まる原油相場への関心も高い。

金相場は先行き不透明感を増しているが、唯一変わっていないものと言えば、米国の金融不安である。米株価はGDPの上向き改定から反発しているが、根本にある金融不安は何ら改善してはいない。まして、米国は三連休を迎えるだけに、何かと悪い噂が先行しやすい状況とも見て取れる。安全資産としての位置付けは不動と思われるだけに、仮に原油が下がったとしても、インフレリスクの後退として売られる場面は長続きしない可能性が高い。

今月中旬に空けたチャート上の窓を埋めるのは容易ではないかも知れないが、さすがに2,800円割れはアンダーシュート(下方への行き過ぎ)と見てよいだろう。足場を固めつつ、3,000円台へのトライが続くコースを想定して、押し目を拾う戦略を取りたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年9月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から16,800円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年9月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)